

（傍線の部分は、改正部分）

改正後			改正前		
埼玉県環境影響評価技術指針			埼玉県環境影響評価技術指針		
第1 総論			第1 総論		
1～4 （略）			1～4 （略）		
別表1 調査・予測・評価の項目			別表1 調査・予測・評価の項目		
調査・予測・評価の項目			調査・予測・評価の項目		
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物	
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物		二酸化硫黄又は硫黄酸化物	
		浮遊粒子状物質		浮遊粒子状物質	
		炭化水素(非メタン炭化水素に限る。以下同じ。)		炭化水素(非メタン炭化水素に限る。以下同じ。)	
		粉じん		粉じん	
		その他の大気質に係る有害物質等 <sup>*1</sup>		その他の大気質に係る有害物質等 <sup>*1</sup>	
	騒音・低周波音	騒音	騒音・低周波音	騒音	
		低周波音		低周波音	
	振動	振動	振動	振動	
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度	
特定悪臭物質 <sup>*2</sup>		特定悪臭物質 <sup>*2</sup>			
水質	公共用水域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量	水質	公共用水域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量
		浮遊物質		浮遊物質	

改正後				改正前			
			窒素及び燐				窒素及び燐
			水温				水温
			水素イオン濃度				水素イオン濃度
			溶存酸素量				溶存酸素量
			その他の生活環境項目* <sup>3</sup>				その他の生活環境項目* <sup>3</sup>
			健康項目等* <sup>4</sup>				健康項目等* <sup>4</sup>
	底質	強熱減量	底質	強熱減量			
		過マンガン酸カリウムによる酸素消費量		過マンガン酸カリウムによる酸素消費量			
		底質に係る有害物質等* <sup>5</sup>		底質に係る有害物質等* <sup>5</sup>			
	地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目* <sup>6</sup>	地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目* <sup>6</sup>			
	水象	河川等の流量、流速及び水位	水象	河川等の流量、流速及び水位			
		地下水の水位及び水脈		地下水の水位及び水脈			
		温泉及び鉱泉		温泉及び鉱泉			
		堤防、水門、ダム等の施設		堤防、水門、ダム等の施設			
土壌	土壌に係る有害項目* <sup>7</sup>	土壌	土壌に係る有害項目* <sup>7</sup>				
地盤	地盤沈下	地盤	地盤沈下				
地象	土地の安定性	地象	土地の安定性				
	地形及び地質(重要な地形及び地質を含む。)		地形及び地質(重要な地形及び地質を含む。)				
	表土の状況及び生産性		表土の状況及び生産性				
生物の多様性の確保及び自然環境の体系	動物	保全すべき種	生物の多様性の確保及び自然環境の体系	動物	保全すべき種		
	植物	保全すべき種		植物	保全すべき種		
		植生及び保全すべき群落			植生及び保全すべき群落		

改正後		
的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目		緑の量
	生態系	地域を特徴づける生態系
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観	景観資源(自然的景観資源及び歴史的景観資源)
		眺望景観
	自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場
	史跡・文化財	指定文化財等
		埋蔵文化財
	日照障害	日影の状況
	電波障害	電波受信状況
風害	局所的な風の発生状況	
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物
		残土
		雨水及び処理水
	温室効果ガス等	温室効果ガス* <sup>8</sup> オゾン層破壊物質* <sup>9</sup>
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき項目	放射線の量	放射線の量
備考 (略)		

改正前		
的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目		緑の量
	生態系	地域を特徴づける生態系
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観	景観資源(自然的景観資源及び歴史的景観資源)
		眺望景観
	自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場
	史跡・文化財	指定文化財等
		埋蔵文化財
	日照障害	日影の状況
	電波障害	電波受信状況
風害	局所的な風の発生状況	
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物
		残土
		雨水及び処理水
	温室効果ガス等	温室効果ガス* <sup>8</sup> オゾン層破壊物質* <sup>9</sup>
(新設)		
備考 (略)		

別表2 地域特性把握のための調査項目

区分	調査項目
----	------

別表2 地域特性把握のための調査項目

区分	調査項目
----	------

改正後		改正前	
社会的状況	人口及び産業の状況	社会的状況	人口及び産業の状況
	土地利用の状況		土地利用の状況
	河川及び湖沼の利用並びに地下水の利用状況		河川及び湖沼の利用並びに地下水の利用状況
	交通の状況		交通の状況
	学校、病院その他の環境保全についての配慮が特に必要な施設及び住宅の分布状況		学校、病院その他の環境保全についての配慮が特に必要な施設及び住宅の分布状況
	下水道、し尿処理施設及びごみ処理施設の整備の状況		下水道、し尿処理施設及びごみ処理施設の整備の状況
	環境の保全を目的とする法律、条例等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の状況及び環境保全に係る計画の内容		環境の保全を目的とする法律、条例等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容その他の状況及び環境保全に係る計画の内容
	その他の事項		その他の事項
自然的状況	大気質、騒音、振動、悪臭、気象その他の大気に係る環境の状況(環境基準の確保の状況を含む。)	自然的状況	大気質、騒音、振動、悪臭、気象その他の大気に係る環境の状況(環境基準の確保の状況を含む。)
	水質、底質、水象その他の水に係る環境の状況(環境基準の確保の状況を含む。)		水質、底質、水象その他の水に係る環境の状況(環境基準の確保の状況を含む。)
	土壌及び地盤の状況(環境基準の確保の状況を含む。)		土壌及び地盤の状況(環境基準の確保の状況を含む。)
	地形及び地質の状況		地形及び地質の状況
	動物の生息、植物の生育、植生、緑の量及び生態系の状況		動物の生息、植物の生育、植生、緑の量及び生態系の状況
	景観、自然とのふれあいの場の状況		景観、自然とのふれあいの場の状況
	文化財その他の生活環境の状況		文化財その他の生活環境の状況
	一般環境中の放射性物質に係る環境の状況		(新設)
	その他の事項		その他の事項

改正後

別表3-1 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表  
(道路)

事業の種類		道路										
影響要因の区分		工事					存在・供用					
環境影響要因の例	建設機械の働	資材搬等の両走行	切土等は存工物の去	土工用路工ヤドの設置	工事道、事一等の設置	道路等の存在			工事道等跡の存在	自動車走行	休憩所の供用	
						地表式	嵩上式	掘割式又は地下式				
調査・予測・評価の項目												
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気	二酸化窒素又は窒素酸化物	*	*								
		1	1									
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物										
		浮遊粒子状物質										
		炭化水素										
		粉じん										
	大気質に係る有害物質等											
	騒音・低周波音	騒音										
		低周波音								*		3
	振動	振動										
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度										
		特定悪臭物質										
	水質	公用水域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量									
			浮遊物質量									
			窒素及び磷									
			水温									
			水素イオン濃度									
		溶存酸素量										
		その他の生活環境項目										
		健康項目等										
底質		強熱減量										
		過マンガン酸カリウムによる酸素消費量										
底質に係る有害物質等												
地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目											
	地下水の水質											
水象	河川等の流量、流速及び水位											
	地下水の水位及び水脈											
温泉及び鉱泉												

改正前

別表3-1 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表  
(道路)

事業の種類		道路										
影響要因の区分		工事					存在・供用					
環境影響要因の例	建設機械の働	資材搬等の両走行	切土等は存工物の去	土工用路工ヤドの設置	工事道、事一等の設置	道路等の存在			工事道等跡の存在	自動車走行	休憩所の供用	
						地表式	嵩上式	掘割式又は地下式				
調査・予測・評価の項目												
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気	二酸化窒素又は窒素酸化物	*	*								
		1	1									
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物										
		浮遊粒子状物質										
		炭化水素										
		粉じん										
	大気質に係る有害物質等											
	騒音・低周波音	騒音										
		低周波音								*		3
	振動	振動										
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度										
		特定悪臭物質										
	水質	公用水域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量									
			浮遊物質量									
			窒素及び磷									
			水温									
			水素イオン濃度									
		溶存酸素量										
		その他の生活環境項目										
		健康項目等										
底質		強熱減量										
		過マンガン酸カリウムによる酸素消費量										
底質に係る有害物質等												
地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目											
	地下水の水質											
水象	河川等の流量、流速及び水位											
	地下水の水位及び水脈											
温泉及び鉱泉												

改正後

		堤防、水門、ダム等の施設																					
	土壌	土壌に係る有害項目																					
	地盤	地盤沈下																					
	地象		土地の安定性																		*		
		地形及び地質（重要な地形及び地質を含む。）																		5			
		表土の状況及び生産性																		* 4	* 5		
生物の多様性及び自然環境体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	動物	保全すべき種																		*	*		
		保全すべき種																			2	2	
	植物	植生及び保全すべき群落																			*	*	
		緑の量																			2	2	
生態系	地域を特徴づける生態系																			* 2	* 2		
	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源） 眺望景観																					
人と自然の豊かなふれあいの場を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	自然のふれあいの場	自然とのふれあいの場																			*	*	
		指定文化財等																				2	2
	史跡・文化財	埋蔵文化財																					
		日照障害	日影の状況																				
	電波障害	電波受信状況																					
	風害	局所的な風の発生状況																					
環境への負荷の程度により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物 残土																					
		雨水及び処理水																					
	温室効果ガス等	温室効果ガス																					
		オゾン層破壊物質																					
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき項目	放射線の量																			*	*		
																					6	6	

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目  
 \* 1 ~ \* 5 （略）  
 \* 6：放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

改正前

		堤防、水門、ダム等の施設																						
	土壌	土壌に係る有害項目																						
	地盤	地盤沈下																						
	地象		土地の安定性																			*	*	
		地形及び地質（重要な地形及び地質を含む。）																				5		
		表土の状況及び生産性																				* 4	* 5	
生物の多様性及び自然環境体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	動物	保全すべき種																			*	*		
		保全すべき種																				2	2	
	植物	植生及び保全すべき群落																				*	*	
		緑の量																				2	2	
生態系	地域を特徴づける生態系																				* 2	* 2		
	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源） 眺望景観																						
人と自然の豊かなふれあいの場を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	自然のふれあいの場	自然とのふれあいの場																				*	*	
		指定文化財等																					2	2
	史跡・文化財	埋蔵文化財																						
		日照障害	日影の状況																					
	電波障害	電波受信状況																						
	風害	局所的な風の発生状況																						
環境への負荷の程度により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物 残土																						
		雨水及び処理水																						
	温室効果ガス等	温室効果ガス																						
		オゾン層破壊物質																						
（新設）																								

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目  
 \* 1 ~ \* 5 （略）  
 （新設）



改正後

改正前

生物の動物	底質	窒素及び有機素																			
		水温																			
		水素イオン濃度																			
		溶存酸素量																			
		その他生活環境項目																			
		健康項目等																			
	地下水の水質	強熱減量																			
		過マンガン酸カリウムによる酸素消費量																			
		底質に係る有害物質等																			
	地下水の水質	地下水に係る有害項目																			
水象	河川等の流量、流速及び水位																				
	地下水の水位及び水脈																				
	温泉及び鉱泉																				
	堤防、水門、ダム等の施設																				
土壌	土壌に係る有害項目																				
地盤	地盤沈下																				
	土地の安定性																				
	地形及び地質(重要な地形及び地質を含む。)																				
地象	表土の状況及び生産性																				
	保全すべき																				

生物の動物	底質	窒素及び有機素																			
		水温																			
		水素イオン濃度																			
		溶存酸素量																			
		その他生活環境項目																			
		健康項目等																			
	地下水の水質	強熱減量																			
		過マンガン酸カリウムによる酸素消費量																			
		底質に係る有害物質等																			
	地下水の水質	地下水に係る有害項目																			
水象	河川等の流量、流速及び水位																				
	地下水の水位及び水脈																				
	温泉及び鉱泉																				
	堤防、水門、ダム等の施設																				
土壌	土壌に係る有害項目																				
地盤	地盤沈下																				
	土地の安定性																				
	地形及び地質(重要な地形及び地質を含む。)																				
地象	表土の状況及び生産性																				
	保全すべき																				



改正後

別表3-3 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表 (鉄道・軌道)

事業の種類		鉄道・軌道											
影響要因の区分		工事					存在・供用						
環境影響要因の例		建設機械稼働	資材搬等の両走行	切土等は既存の工事等	工事用路、事一等の設置	鉄道施設	地表式	嵩上式	掘割式又は地下式	列車の走行	駅舎等の供用周の増加を含む。		
調査・予測・評価の項目													
環境の良好な状態を保持し、及び評価を予びさるべき項目	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物	*	*							* 4		
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物											
		浮遊粒子状物質											
		炭化水素											
		粉じん											
		大気質に係る有害物質等											
	騒音・低周波音	騒音										* 4	
		低周波音								*	3		
	振動	振動											
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度											
		特定悪臭物質											
	水質	公共域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量										
			浮遊物質										
			窒素及び燐										
			水温										
			水素イオン濃度										
			溶存酸素量										
		底質	その他の生活環境項目										
			健康項目等										
			強熱減量										
過マンガン酸カリウムによる酸素消費量													
地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目												
水象	河川等の流量、流速及び水位												
	地下水の水位及び水脈												
	温泉及び鉱泉												
	堤防、水門、ダム等の施設												
土壌	土壌に係る有害項目												
地盤	地盤沈下												
地象	土地の安定性								*	6			
	地形及び地質(重要な地形及び地質を含む。)												
	表土の状況及び生産性					*	*						

改正前

別表3-3 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表 (鉄道・軌道)

事業の種類		鉄道・軌道											
影響要因の区分		工事					存在・供用						
環境影響要因の例		建設機械稼働	資材搬等の両走行	切土等は既存の工事等	工事用路、事一等の設置	鉄道施設	地表式	嵩上式	掘割式又は地下式	列車の走行	駅舎等の供用周の増加を含む。		
調査・予測・評価の項目													
環境の良好な状態を保持し、及び評価を予びさるべき項目	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物	*	*							* 4		
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物											
		浮遊粒子状物質											
		炭化水素											
		粉じん											
		大気質に係る有害物質等											
	騒音・低周波音	騒音										* 4	
		低周波音								*	3		
	振動	振動											
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度											
		特定悪臭物質											
	水質	公共域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量										
			浮遊物質										
			窒素及び燐										
			水温										
			水素イオン濃度										
			溶存酸素量										
		底質	その他の生活環境項目										
			健康項目等										
			強熱減量										
過マンガン酸カリウムによる酸素消費量													
地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目												
水象	河川等の流量、流速及び水位												
	地下水の水位及び水脈												
	温泉及び鉱泉												
	堤防、水門、ダム等の施設												
土壌	土壌に係る有害項目												
地盤	地盤沈下												
地象	土地の安定性								*	6			
	地形及び地質(重要な地形及び地質を含む。)												
	表土の状況及び生産性					*	*						

改正後											
生物多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査・評価されるべき項目	動物	保全すべき種	* 2						* 2		* 2
	植物	保全すべき種	* 2								
		植生及び保全すべき群落	* 2								
			緑の量							* 1	
生態系	地域を特徴づける生態系	* 2						* 2		* 2	
人と自然のふれあいの場	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）									
		眺望景観									
自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場	* 2						* 2			
史跡・文化財	指定文化財等	埋蔵文化財									
		日照障害	日影の状況								
電波障害	電波受信状況										
風害	局所的な風の発生状況										
環境負荷の程度	廃棄物等	廃棄物									
		残土									
温室効果ガス等	温室効果ガス	雨水及び処理水									
		温室効果ガス									
放射線物質について	放射線の量	放射線の量	* 7	* 7	* 7	* 7					

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目

\* 1 ~ \* 6      (略)

\* 7 : 放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

別表 3 - 4 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表  
(飛行場)

改正前											
生物多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査・評価されるべき項目	動物	保全すべき種	* 2						* 2		* 2
	植物	保全すべき種	* 2								
		植生及び保全すべき群落	* 2								
			緑の量							* 1	
生態系	地域を特徴づける生態系	* 2						* 2		* 2	
人と自然のふれあいの場	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）									
		眺望景観									
自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場	* 2						* 2			
史跡・文化財	指定文化財等	埋蔵文化財									
		日照障害	日影の状況								
電波障害	電波受信状況										
風害	局所的な風の発生状況										
環境負荷の程度	廃棄物等	廃棄物									
		残土									
温室効果ガス等	温室効果ガス	雨水及び処理水									
		温室効果ガス									
放射線物質について	放射線の量	放射線の量	* 7	* 7	* 7	* 7					
(新設)											

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目

\* 1 ~ \* 6      (略)

(新設)

別表 3 - 4 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表  
(飛行場)

改正後

事業の種類		飛行場								
影響要因の区分		工事			存在・供用					
環境影響要因の例		建設機 械稼働	資材搬 運等車 の走行	造成の 工事	飛行場の存在		航空機の運航		飛行場 施設の用 供（周辺 交通量の 増加を含 む。）	
					飛行場	ヘリ ポート	飛行場	ヘリ ポート		
調査・予測・評価の項目		（飛行場の場合のみ）			飛行場	ヘリ ポート	飛行場	ヘリ ポート	飛行場	
環境の良 好な状態 を保持し て、予測 及び評価 されるべき 項目	大気	二酸化窒素又は窒素酸化物								
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物								
		浮遊粒子状物質								
		炭化水素								
		粉じん								
		大気質に係る有害物質等								
	騒音・低周波音	騒音								
		低周波音								
	振動	振動								
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度								
		特定悪臭物質								
	水質	公共域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量							
			浮遊物質							
			窒素及び燐							
			水温							
			水素イオン濃度							
			溶存酸素量							
			その他の生活環境項目							
		底質	健康項目等							
			強熱減量							
			過マンガン酸カリウムによる酸素消費量							
	地下水の水質	底質に係る有害物質等								
		地下水の水質に係る有害項目								
	水象	河川等の流量、流速及び水位								
		地下水の水位及び水脈								
		温泉及び鉱泉								
		堤防、水門、ダム等の施設								
土壌	土壌に係る有害項目									
地盤	地盤沈下									
	土地の安定性									
	地形及び地質（重要な地形及び地質を含む。）									
地表	表土の状況及び生産性									

改正前

事業の種類		飛行場								
影響要因の区分		工事			存在・供用					
環境影響要因の例		建設機 械稼働	資材搬 運等車 の走行	造成の 工事	飛行場の存在		航空機の運航		飛行場 施設の用 供（周辺 交通量の 増加を含 む。）	
					飛行場	ヘリ ポート	飛行場	ヘリ ポート		
調査・予測・評価の項目		（飛行場の場合のみ）			飛行場	ヘリ ポート	飛行場	ヘリ ポート	飛行場	
環境の良 好な状態 を保持し て、予測 及び評価 されるべき 項目	大気	二酸化窒素又は窒素酸化物								
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物								
		浮遊粒子状物質								
		炭化水素								
		粉じん								
		大気質に係る有害物質等								
	騒音・低周波音	騒音								
		低周波音								
	振動	振動								
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度								
		特定悪臭物質								
	水質	公共域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量							
			浮遊物質							
			窒素及び燐							
			水温							
			水素イオン濃度							
			溶存酸素量							
			その他の生活環境項目							
		底質	健康項目等							
			強熱減量							
			過マンガン酸カリウムによる酸素消費量							
	地下水の水質	底質に係る有害物質等								
		地下水の水質に係る有害項目								
	水象	河川等の流量、流速及び水位								
		地下水の水位及び水脈								
		温泉及び鉱泉								
		堤防、水門、ダム等の施設								
土壌	土壌に係る有害項目									
地盤	地盤沈下									
	土地の安定性									
	地形及び地質（重要な地形及び地質を含む。）									
地表	表土の状況及び生産性									

改正後											
生物の多様性及び自然体系を保全し、調査・評価されるべき項目	動物	保全すべき種						*	*		
		保全すべき種						2	2		
	植物	植生及び保全すべき群落									
		緑の量					*				
	生態系	地域を特徴づける生態系						*	*		
								2	2		
人と自然とのふれあいの場を調査・評価されるべき項目	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）									
	眺望景観										
	自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場									
	史跡・文化財	指定文化財等									
	日照障害	埋蔵文化財									
	電波障害	日影の状況									
	風害	電波受信状況									
		局所的な風の発生状況									
環境への負荷の程度により評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物									
		残土									
	温室効果ガス	雨水及び処理水									
		オゾン層破壊物質									
一般環境中の放射性物質について調査・評価されるべき項目	放射線の量	放射線の量									
			*	*	*						
			3	3	3						

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目

\* 1 ~ \* 2    (略)

\* 3 : 放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

別表3-5 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表  
(工場・廃棄物処理施設・下水道終末処理場)

事業の種類	工場・廃棄物処理施設・下水道終末処理場										
	工事			存在・供用							自動車等
	建設機械	資材運搬	造成の工事(工場)	造成地・施設の存在		施設の稼働					
						工場(施設)	その他	工場	ごみ	し尿	

改正前											
生物の多様性及び自然体系を保全し、調査・評価されるべき項目	動物	保全すべき種						*	*		
		保全すべき種						2	2		
	植物	植生及び保全すべき群落									
		緑の量					*				
	生態系	地域を特徴づける生態系						*	*		
								2	2		
人と自然とのふれあいの場を調査・評価されるべき項目	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）									
	眺望景観										
	自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場									
	史跡・文化財	指定文化財等									
	日照障害	埋蔵文化財									
	電波障害	日影の状況									
	風害	電波受信状況									
		局所的な風の発生状況									
環境への負荷の程度により評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物									
		残土									
	温室効果ガス	雨水及び処理水									
		オゾン層破壊物質									
一般環境中の放射性物質について調査・評価されるべき項目	放射線の量	放射線の量									

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目

\* 1 ~ \* 2    (略)

(新設)

別表3-5 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表  
(工場・廃棄物処理施設・下水道終末処理場)

事業の種類	工場・廃棄物処理施設・下水道終末処理場										
	工事			存在・供用							自動車等
	建設機械	資材運搬	造成の工事(工場)	造成地・施設の存在		施設の稼働					
						工場(施設)	その他	工場	ごみ	し尿	



改正後														改正前														
			費量														費量											
			底質に係る有害物質等																底質に係る有害物質等									
	水象		地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目														地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目									
			河川等の流量、流速及び水位															河川等の流量、流速及び水位										
			地下水の水位及び水脈															地下水の水位及び水脈										
			温泉及び鉱泉															温泉及び鉱泉										
	土壌			堤防、水門、ダム等の施設														堤防、水門、ダム等の施設										
				土壌に係る有害項目															土壌に係る有害項目									
	地盤			地盤沈下														地盤沈下										
				土地の安定性														土地の安定性										
地形及び地質（重要な地形及び地質を含む。）											*	2						地形及び地質（重要な地形及び地質を含む。）								*	2	
地象			表土の状況及び生産性														表土の状況及び生産性											
生物の多様性及び生態系を保全して調査、評価されるべき項目	動物		保全すべき種														保全すべき種											
	植物		保全すべき種														保全すべき種											
			植生及び保全すべき群落														植生及び保全すべき群落											
生態系			緑の量						*	1							緑の量						*	1				
			地域を特徴づける生態系														地域を特徴づける生態系											
人と自然の豊かなふれあいの確保及び生活環境を調査、評価されるべき項目	景観		景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）														景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）											
			眺望景観														眺望景観											
	自然のふれあいの場			自然とのふれあいの場						*	2	*	2	*	2	*	2	*	2	*	2	*	2					
				指定文化財等									*	2							*	2						
史跡・文化財			埋蔵文化財														埋蔵文化財											

改正後

	日照障害	日影の状況																		
	電波障害	電波受信状況																		
	風害	局所的な風の発生状況																		
環境への量に測り及ぶべき項目	廃棄物等	廃棄物																		
		残土 雨水及び処理水																		
	温室効果ガス	温室効果ガス オゾン層破壊物質																		
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき項目	放射線の量	放射線の量																		

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目  
 \* 1 ~ \* 6    (略)  
 \* 7 : 放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

改正前

	日照障害	日影の状況																		
	電波障害	電波受信状況																		
	風害	局所的な風の発生状況																		
環境への量に測り及ぶべき項目	廃棄物等	廃棄物																		
		残土 雨水及び処理水																		
	温室効果ガス	温室効果ガス オゾン層破壊物質																		
(新設)																				

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目  
 \* 1 ~ \* 6    (略)  
 (新設)

別表3 - 6 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表 (高層建築物)

別表3 - 6 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表 (高層建築物)

事業の種類		高層建築物							
影響要因の区分		工事			存在・供用				
環境影響要因の例		建設機械の稼働	資材運搬等の車両の走行	造成等の工事	敷地及び施設の存在	施設の稼働及び人の利用	自動車交通の発生		
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物							
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物							
		浮遊粒子状物質							
		炭化水素							
		粉じん							
		大気質に係る有害物質等							
	騒音・低周波音	騒音							
		低周波音							
	振動	振動							
		臭気指数又は臭気の濃度							
	水質	公共用水域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量						
			浮遊物質						
窒素及び燐									
水温									
水素イオン濃度									
溶存酸素量									

事業の種類		高層建築物							
影響要因の区分		工事			存在・供用				
環境影響要因の例		建設機械の稼働	資材運搬等の車両の走行	造成等の工事	敷地及び施設の存在	施設の稼働及び人の利用	自動車交通の発生		
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物							
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物							
		浮遊粒子状物質							
		炭化水素							
		粉じん							
		大気質に係る有害物質等							
	騒音・低周波音	騒音							
		低周波音							
	振動	振動							
		臭気指数又は臭気の濃度							
	水質	公共用水域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量						
			浮遊物質						
窒素及び燐									
水温									
水素イオン濃度									
溶存酸素量									

改正後

	底質	その他の生活環境項目							
		健康項目等							
		強熱減量							
		過マンガン酸カリウムによる酸素消費量							
		底質に係る有害物質等							
	地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目							
		水象	河川等の流量、流速及び水位						
			地下水の水位及び水脈						
			温泉及び鉱泉						
	堤防、水門、ダム等の施設								
	土壌	土壌に係る有害項目							
		地盤	地盤沈下						
	地象		土地の安定性						
地形及び地質（重要な地形及び地質を含む。）									
表土の状況及び生産性									
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	動物	保全すべき種						* 1	
		保全すべき種						* 1	
	植物	植生及び保全すべき群落							* 1
		緑の量							
生態系	地域を特徴づける生態系							* 1	
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）							* 1
		眺望景観							
	自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場							* 1
		指定文化財等							* 1
	史跡・文化財	埋蔵文化財							* 1
	日照障害	日影の状況							
	電波障害	電波受信状況							
風害	局所的な風の発生状況								
環境への負荷の量により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物							
		残土							
		雨水及び処理水							
	温室効果ガス等	温室効果ガス							
オゾン層破壊物質									
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき項目	放射線の量							* 2	

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目

\* 1 （略）

\* 2：放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

改正前

	底質	その他の生活環境項目								
		健康項目等								
		強熱減量								
		過マンガン酸カリウムによる酸素消費量								
		底質に係る有害物質等								
	地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目								
		水象	河川等の流量、流速及び水位							
			地下水の水位及び水脈							
			温泉及び鉱泉							
	堤防、水門、ダム等の施設									
	土壌	土壌に係る有害項目								
		地盤	地盤沈下							
	地象		土地の安定性							
地形及び地質（重要な地形及び地質を含む。）										
表土の状況及び生産性										
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	動物	保全すべき種							* 1	
		保全すべき種								* 1
	植物	植生及び保全すべき群落								* 1
		緑の量								
生態系	地域を特徴づける生態系								* 1	
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）								* 1
		眺望景観								
	自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場								* 1
		指定文化財等								* 1
	史跡・文化財	埋蔵文化財								* 1
	日照障害	日影の状況								
	電波障害	電波受信状況								
風害	局所的な風の発生状況									
環境への負荷の量により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物								
		残土								
		雨水及び処理水								
	温室効果ガス等	温室効果ガス								
オゾン層破壊物質										
（新設）										

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目

\* 1 （略）

（新設）

改正後

別表3-7 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表  
(住宅団地・区画整理)

事業の種類		住宅団地・区画整理								
影響要因の区分		工事				存在・供用				
環境影響要因の例		建設機械の働	資材搬等の車の行	造成の工事	造成の存在	施設の存在	居住施設の供用	業務施設の供用	自動車の発生	
調査・予測・評価の項目										
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気	二酸化窒素又は窒素酸化物								
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物								
		浮遊粒子状物質								
		炭化水素								
		粉じん								
	大気質に係る有害物質等									
	騒音・低周波音	騒音							*	
		低周波音							3	
	振動	振動								
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度								
		特定悪臭物質								
	水質	公共用水域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量							
			浮遊物質							
			窒素及び燐							
			水温							
			水素イオン濃度							
			溶存酸素量							
			その他の生活環境項目							
		健康項目等								
		底質	強熱減量							
			過マンガン酸カリウムによる酸素消費量							
	底質に係る有害物質等									
	地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目								
	水象	河川等の流量、流速及び水位								
		地下水の水位及び水脈				*				
		温泉及び鉱泉				2				
		堤防、水門、ダム等の施設								
土壌	土壌に係る有害項目									
地盤	地盤沈下				*					
	2									
地象	土地の安定性									
	地形及び地質(重要な地形及び地質を含む。)									
	表土の状況及び生産性									
生物の多様	動物	保全すべき種						*		

改正前

別表3-7 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表  
(住宅団地・区画整理)

事業の種類		住宅団地・区画整理								
影響要因の区分		工事				存在・供用				
環境影響要因の例		建設機械の働	資材搬等の車の行	造成の工事	造成の存在	施設の存在	居住施設の供用	業務施設の供用	自動車の発生	
調査・予測・評価の項目										
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気	二酸化窒素又は窒素酸化物								
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物								
		浮遊粒子状物質								
		炭化水素								
		粉じん								
	大気質に係る有害物質等									
	騒音・低周波音	騒音							*	
		低周波音							3	
	振動	振動								
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度								
		特定悪臭物質								
	水質	公共用水域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量							
			浮遊物質							
			窒素及び燐							
			水温							
			水素イオン濃度							
			溶存酸素量							
			その他の生活環境項目							
		健康項目等								
		底質	強熱減量							
			過マンガン酸カリウムによる酸素消費量							
	底質に係る有害物質等									
	地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目								
	水象	河川等の流量、流速及び水位								
		地下水の水位及び水脈				*				
		温泉及び鉱泉				2				
		堤防、水門、ダム等の施設								
土壌	土壌に係る有害項目									
地盤	地盤沈下				*					
	2									
地象	土地の安定性									
	地形及び地質(重要な地形及び地質を含む。)									
	表土の状況及び生産性									
生物の多様	動物	保全すべき種						*		

改正後										
性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	植物	保全すべき種							4	
		植生及び保全すべき群落								
	緑の量				*	1				
生態系	地域を特徴づける生態系							*	4	
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）								
		眺望景観								
	自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場						*	4	
	史跡・文化財	指定文化財等								
		埋蔵文化財								
	日照障害	日影の状況								
	電波障害	電波受信状況								
風害	局所的な風の発生状況									
環境への負荷の程度により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物								
		残土								
	温室効果ガス	雨水及び処理水								
		オゾン層破壊物質								
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき項目	放射線量	放射線の量		*		*		*		
				5		5		5		

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目  
 \* 1 ~ \* 4    (略)  
 \* 5 : 放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

改正前										
性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	植物	保全すべき種							4	
		植生及び保全すべき群落								
	緑の量				*	1				
生態系	地域を特徴づける生態系							*	4	
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）								
		眺望景観								
	自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場						*	4	
	史跡・文化財	指定文化財等								
		埋蔵文化財								
	日照障害	日影の状況								
	電波障害	電波受信状況								
風害	局所的な風の発生状況									
環境への負荷の程度により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物								
		残土								
	温室効果ガス	雨水及び処理水								
		オゾン層破壊物質								
(新設)										

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目  
 \* 1 ~ \* 4    (略)  
 (新設)

別表3 - 8 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表 (工業団地・流通業務施設)

事業の種類 影響要因の区分	工業団地・流通業務施設							
	工事				存在・供用			
	建設機械の稼働	資材搬送車の走行	造成工事	造成地の存在	施設の存在	施設の稼働	自動車交通の発生	自動車交通の発生
環境影響要因の例								
調査・予測・評価の項目	大気	二酸化窒素又は窒素酸化物						

別表3 - 8 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表 (工業団地・流通業務施設)

事業の種類 影響要因の区分	工業団地・流通業務施設							
	工事				存在・供用			
	建設機械の稼働	資材搬送車の走行	造成工事	造成地の存在	施設の存在	施設の稼働	自動車交通の発生	自動車交通の発生
環境影響要因の例								
調査・予測・評価の項目	大気	二酸化窒素又は窒素酸化物						

改正後											改正前										
持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	騒音・低周波音	二酸化硫黄又は硫黄酸化物									騒音・低周波音	二酸化硫黄又は硫黄酸化物									
		浮遊粒子状物質										浮遊粒子状物質									
		炭化水素										炭化水素									
		粉じん										粉じん									
		大気質に係る有害物質等										大気質に係る有害物質等									
	振動	騒音									振動	騒音									
		低周波音										低周波音									
	悪臭	振動									悪臭	振動									
		臭気指数又は臭気の濃度										臭気指数又は臭気の濃度									
	水質	公共用水域の水質	特定悪臭物質								公共用水域の水質	特定悪臭物質									
			生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量							*		生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量								*	
			浮遊物質							4		浮遊物質								4	
			窒素及び燐									窒素及び燐									
			水温									水温									
			水素イオン濃度									水素イオン濃度									
			溶存酸素量									溶存酸素量									
			その他の生活環境項目									その他の生活環境項目									
			健康項目等									健康項目等									
			底質	強熱減量									底質	強熱減量							
		過マンガン酸カリウムによる酸素消費量									過マンガン酸カリウムによる酸素消費量										
底質に係る有害物質等										底質に係る有害物質等											
地下水の水質		地下水の水質に係る有害項目								地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目										
		河川等の流量、流速及び水位									水象	河川等の流量、流速及び水位									
	地下水の水位及び水脈						*	地下水の水位及び水脈								*					
温泉及び鉱泉						3	温泉及び鉱泉							3							
土壌	堤防、水門、ダム等の施設								土壌	堤防、水門、ダム等の施設											
	土壌に係る有害項目						*	土壌に係る有害項目							*						
地盤	地盤沈下						*	地盤	地盤沈下						*						
	3						3		3						3						
地象	土地の安定性								地象	土地の安定性											
	地形及び地質(重要な地形及び地質を含む。)									地形及び地質(重要な地形及び地質を含む。)											
	表土の状況及び生産性									表土の状況及び生産性											
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価	動物	保全すべき種							動物	保全すべき種											
		保全すべき種									保全すべき種										
	植物	植生及び保全すべき群落								植物	植生及び保全すべき群落										
		緑の量						*	緑の量							*					
生態系	1								生態系	1											
	地域を特徴づける生態系									地域を特徴づける生態系											

改正後										
されるべき項目										
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源） 眺望景観								
	自然のふれあいの場	自然とのふれあいの場					*	*		
	指定文化財等	指定文化財等								
	埋蔵文化財	埋蔵文化財								
	日照障害	日影の状況								
	電波障害	電波受信状況								
	風害	局所的な風の発生状況								
環境への負荷の程度により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物 残土 雨水及び処理水								
	温室効果ガス	温室効果ガス								
	オゾン層破壊物質	オゾン層破壊物質					*			
							5			
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき項目	放射線の量	放射線の量								
			*	*	*					
			6	6	6					

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目

\* 1 ~ \* 5 （略）

\* 6：放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

改正前										
されるべき項目										
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源） 眺望景観								
	自然のふれあいの場	自然とのふれあいの場					*	*		
	指定文化財等	指定文化財等								
	埋蔵文化財	埋蔵文化財								
	日照障害	日影の状況								
	電波障害	電波受信状況								
	風害	局所的な風の発生状況								
環境への負荷の程度により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物 残土 雨水及び処理水								
	温室効果ガス	温室効果ガス								
	オゾン層破壊物質	オゾン層破壊物質					*			
							5			
（新設）										

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目

\* 1 ~ \* 5 （略）

（新設）

別表3-9 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表（研究所・学校）

事業の種類 影響要因の区分	研究所・学校						
	工事			存在・供用			
環境影響要因の例	建設機械の稼働	資材搬送車の走行	造成工事	造成地の存在	構造物の存在	学校・研究施設の稼働	自動車交通の発生
調査・予測・評価の項目							
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物					
		二酸化硫黄又は硫酸酸化物					
		浮遊粒子状物質					
		炭化水素					
		粉じん					*
大気質に係る有害物質等					3		

別表3-9 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表（研究所・学校）

事業の種類 影響要因の区分	研究所・学校						
	工事			存在・供用			
環境影響要因の例	建設機械の稼働	資材搬送車の走行	造成工事	造成地の存在	構造物の存在	学校・研究施設の稼働	自動車交通の発生
調査・予測・評価の項目							
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物					
		二酸化硫黄又は硫酸酸化物					
		浮遊粒子状物質					
		炭化水素					
		粉じん					*
大気質に係る有害物質等					3		



改正後									
査、予測及び評価されるべき項目	史跡・文化財	指定文化財等							
	日照障害	日照の状況							
	電波障害	電波受信状況							
	風害	局所的な風の発生状況							
環境への負荷の量により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物							
		残土							
	温室効果ガス等	温室効果ガス							
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき項目	放射線の量	放射線の量							
			$\frac{*}{4}$	$\frac{*}{4}$	$\frac{*}{4}$				

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目  
 \* 1 ~ \* 3      (略)  
 \* 4 : 放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

改正前									
査、予測及び評価されるべき項目	史跡・文化財	指定文化財等							
	日照障害	日照の状況							
	電波障害	電波受信状況							
	風害	局所的な風の発生状況							
環境への負荷の量により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物							
		残土							
	温室効果ガス等	温室効果ガス							
(新設)									

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目  
 \* 1 ~ \* 3      (略)  
 (新設)

別表3-10 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表 (スポーツ又はレクリエーション施設、墓地又は墓園)

事業の種類		スポーツ又はレクリエーション施設、墓地又は墓園											
影響要因の区分		工事		存在・供用									
環境影響要因の例		建設機械の稼働	資材運搬等の車の走行	造成の工事	造成地の存在	構造物の存在		施設の供用		農業の使用	自動車の発生		
						スポーツ又はレクリエーション施設	墓地又は墓園	スポーツ又はレクリエーション施設	墓地又は墓園		スポーツ又はレクリエーション施設	墓地又は墓園	
調査・予測・評価の項目													
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物											
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物											
		浮遊粒子状物質											
		炭化水素											
		粉じん											
		大気質に係る有害物質等											
	騒音・低周波音	騒音											
	低周波音												

別表3-10 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表 (スポーツ又はレクリエーション施設、墓地又は墓園)

事業の種類		スポーツ又はレクリエーション施設、墓地又は墓園											
影響要因の区分		工事		存在・供用									
環境影響要因の例		建設機械の稼働	資材運搬等の車の走行	造成の工事	造成地の存在	構造物の存在		施設の供用		農業の使用	自動車の発生		
						スポーツ又はレクリエーション施設	墓地又は墓園	スポーツ又はレクリエーション施設	墓地又は墓園		スポーツ又はレクリエーション施設	墓地又は墓園	
調査・予測・評価の項目													
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物											
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物											
		浮遊粒子状物質											
		炭化水素											
		粉じん											
		大気質に係る有害物質等											
	騒音・低周波音	騒音											
	低周波音												

改正後

	振動	振動																			
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度																			
		特定悪臭物質																			
	水質	公共域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量																		
			浮遊物質																		
			窒素及び磷																		
			水温																		
			水素イオン濃度																		
			溶存酸素量																		
			その他の生活環境項目 健康項目等																		
		底質	強熱減量																		
			過マンガン酸カリウムによる酸素消費量 底質に係る有害物質等																		
		地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目																		
	水象	河川等の流量、流速及び水位																			
		地下水の水位及び水脈																			
温泉及び鉱泉 堤防、水門、ダム等の施設																					
土壌	土壌に係る有害項目																				
地盤	地盤沈下																				
地象	土地の安定性																				
	地形及び地質（重要な地形及び地質を含む。）																				
	表土の状況及び生産性																				
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	動物	保全すべき種																			
	植物	保全すべき種																	*		
		植生及び保全すべき群落																	2		
		緑の量																	*		
生態系	地域を特徴づける生態系																	1			
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）																			
		眺望景観																			
自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場																				

改正前

	振動	振動																		
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度																		
		特定悪臭物質																		
	水質	公共域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量																	
			浮遊物質																	
			窒素及び磷																	
			水温																	
			水素イオン濃度																	
			溶存酸素量																	
			その他の生活環境項目 健康項目等																	
		底質	強熱減量																	
			過マンガン酸カリウムによる酸素消費量 底質に係る有害物質等																	
		地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目																	
	水象	河川等の流量、流速及び水位																		
		地下水の水位及び水脈																		
温泉及び鉱泉 堤防、水門、ダム等の施設																				
土壌	土壌に係る有害項目																			
地盤	地盤沈下																			
地象	土地の安定性																			
	地形及び地質（重要な地形及び地質を含む。）																			
	表土の状況及び生産性																			
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	動物	保全すべき種																		
	植物	保全すべき種																	*	
		植生及び保全すべき群落																	2	
		緑の量																	*	
生態系	地域を特徴づける生態系																	1		
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調	景観	景観資源（自然的景観資源及び歴史的景観資源）																		
		眺望景観																		
自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場																			





改正後

されるべき項目	効果等	オゾン層破壊物質							
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき項目	放射線の量	放射線の量	$\frac{*}{2}$	$\frac{*}{2}$	$\frac{*}{2}$				

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目

\* 1 （略）

\* 2：放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

別表3-12 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表（土石の採取）

事業の種類		土石の採取					
影響要因の区分		存在・供用					
環境影響要因の例		土石等の採取場の存在	工作物・機械類の存在	土石の採取行為（重機等の稼働を含む。）	土石の運搬車両の走行	採取跡地の存在	
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物					
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物					
		浮遊粒子状物質					
		炭化水素					
		粉じん					
		大気質に係る有害物質等					
	騒音・低周波音	騒音					
		低周波音					
	振動	振動					
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度					
		特定悪臭物質					
	水質	公共用水域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量				
			浮遊物質				
			窒素及び燐				
			水温				
			水素イオン濃度				
			溶解酸素量				
		その他の生活環境項目					
		底質	健康項目等				
			強熱減量				
過マンガン酸カリウムによる酸素消費量							
底質に係る有害物質等							
地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目						

改正前

されるべき項目	効果等	オゾン層破壊物質							
(新設)									

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目

\* 1 （略）

(新設)

別表3-12 環境影響要因と調査・予測・評価の項目との関連表（土石の採取）

事業の種類		土石の採取					
影響要因の区分		存在・供用					
環境影響要因の例		土石等の採取場の存在	工作物・機械類の存在	土石の採取行為（重機等の稼働を含む。）	土石の運搬車両の走行	採取跡地の存在	
環境の良好な状態の保持を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	大気質	二酸化窒素又は窒素酸化物					
		二酸化硫黄又は硫黄酸化物					
		浮遊粒子状物質					
		炭化水素					
		粉じん					
		大気質に係る有害物質等					
	騒音・低周波音	騒音					
		低周波音					
	振動	振動					
	悪臭	臭気指数又は臭気の濃度					
		特定悪臭物質					
	水質	公共用水域の水質	生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量				
			浮遊物質				
			窒素及び燐				
			水温				
			水素イオン濃度				
			溶解酸素量				
		その他の生活環境項目					
		底質	健康項目等				
			強熱減量				
過マンガン酸カリウムによる酸素消費量							
底質に係る有害物質等							
地下水の水質	地下水の水質に係る有害項目						

改正後

	水象	河川等の流量、流速及び水位				
		地下水の水位及び水脈				
		温泉及び鉱泉				
		堤防、水門、ダム等の施設				
	土壌	土壌に係る有害項目				
地盤	地象	地盤沈下				
		土地の安定性				
		地形及び地質(重要な地形及び地質を含む。)				
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	動物	保全すべき種				
		植物	植生及び保全すべき群落 緑の量			
	生態系	地域を特徴づける生態系				
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調査、評価されるべき項目	景観	景観資源(自然的景観資源及び歴史的景観資源) 眺望景観				
		自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場			
	史跡・文化財	指定文化財等				
		埋蔵文化財				
	日照障害	日影の状況				
	電波障害	電波受信状況				
	風害	局所的な風の発生状況				
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物 残土				
		雨水及び処理水				
	温室効果ガス	温室効果ガス				
	オゾン層破壊物質	オゾン層破壊物質				
一般環境中の放射性物質について調査、予測及び評価されるべき項目	放射線の量	放射線の量			* 1	* 1

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目  
\* 1：放射性物質が相当程度拡散・流出するおそれがある場合

別表4 (略)

別表5 調査計画書作成までの段階において留意されるべき配慮事項

改正前

	水象	河川等の流量、流速及び水位				
		地下水の水位及び水脈				
		温泉及び鉱泉				
		堤防、水門、ダム等の施設				
	土壌	土壌に係る有害項目				
地盤	地象	地盤沈下				
		土地の安定性				
		地形及び地質(重要な地形及び地質を含む。)				
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき項目	動物	保全すべき種				
		植物	植生及び保全すべき群落 緑の量			
	生態系	地域を特徴づける生態系				
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として調査、評価されるべき項目	景観	景観資源(自然的景観資源及び歴史的景観資源) 眺望景観				
		自然とのふれあいの場	自然とのふれあいの場			
	史跡・文化財	指定文化財等				
		埋蔵文化財				
	日照障害	日影の状況				
	電波障害	電波受信状況				
	風害	局所的な風の発生状況				
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき項目	廃棄物等	廃棄物 残土				
		雨水及び処理水				
	温室効果ガス	温室効果ガス				
	オゾン層破壊物質	オゾン層破壊物質				
(新設)						

：標準的に選定する項目      ：事業特性、地域特性により選定する項目  
(新設)

別表4 (略)

別表5 調査計画書作成までの段階において留意されるべき配慮事項

改正後		改正前	
区分	配慮事項	区分	配慮事項
環境の良好な状態の保持を旨として留意されるべき配慮事項	(略)	環境の良好な状態の保持を旨として留意されるべき配慮事項	(略)
生物多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として留意されるべき配慮事項	(略)	生物多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として留意されるべき配慮事項	(略)
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として留意されるべき配慮事項	(略)	人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として留意されるべき配慮事項	(略)
環境への負荷の低減を旨として留意されるべき配慮事項	(略)	環境への負荷の低減を旨として留意されるべき配慮事項	(略)
一般環境中の放射性物質について留意さ	1 <u>放射性物質の拡散・流出による影響の回避又は低減に努めること。</u>	(新設)	

改正後		改正前	
れるべき配慮 事項			
別表6 準備書作成までの段階における環境保全措置検討のための基本事項		別表6 準備書作成までの段階における環境保全措置検討のための基本事項	
区分	基本事項	区分	基本事項
環境の良好な状態の保持を旨として留意されるべき配慮事項	(略)	環境の良好な状態の保持を旨として留意されるべき配慮事項	(略)
生物多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として留意されるべき配慮事項	(略)	生物多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として留意されるべき配慮事項	(略)
人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として留意されるべき配慮事項	(略)	人と自然との豊かなふれあいの確保及び快適な生活環境の保全を旨として留意されるべき配慮事項	(略)
環境への負荷の低減を旨として留意され	(略)	環境への負荷の低減を旨として留意され	(略)

改正後		改正前	
るべき配慮事項		るべき配慮事項	
一般環境中の放射性物質について留意されるべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 放射性物質を含む粉じんの発生を抑えること。</li> <li>2 放射性物質を含む表土の降雨による水の濁りの発生を抑えること。</li> <li>3 放射性物質を含む廃棄物や建設発生土の発生を抑えること。</li> <li>4 放射性物質の拡散・流出の防止に努めること。</li> </ul>	(新設)	
第2 各論		第2 各論	
1～20 (略)		1～20 (略)	
2.1 放射線の量		(新設)	
(1) 対象とする調査・予測・評価の項目			
放射線の量			
(2) 調査			
ア 調査内容			
(ア) 放射線の量の状況(空間線量率等によって把握されるもの)			
(イ) その他の予測・評価に必要な事項			
a 気象の状況			
風向・風速、大気安定度(日射量、雲量又は放射収支量)、気温等			
b 大気の流れ、拡散等に影響を及ぼす地形・地物の			

改正後	改正前
<p><u>状況</u></p> <p><u>c 水象、水質その他の水に係る環境の状況</u></p> <p><u>d 水域利用の状況</u></p> <p><u>e 対象事業等実施区域の土地改変の履歴</u></p> <p><u>f 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が特に必要な施設及び住宅の分布状況</u></p> <p><u>イ 調査方法</u> <u>既存資料の収集又は現地調査により行う。</u></p> <p><u>ウ 調査地域・地点</u></p> <p><u>(ア) 調査地域</u> <u>事業を実施することにより、放射線に係る環境影響を受けるおそれがある地域</u></p> <p><u>(イ) 調査地点</u> <u>放射線による影響の予測・評価に必要な内容を適切かつ効果的に把握することができる地点</u></p> <p><u>エ 調査期間・頻度</u> <u>放射線による影響の予測・評価に必要な内容を適切かつ効果的に把握することができる期間・頻度</u></p> <p><u>(3) 予測</u></p> <p><u>ア 予測内容</u> <u>放射線の量の変化の程度</u></p> <p><u>イ 予測方法</u> <u>予測は次に示す方法のうち適切な方法を用いて行う。</u></p> <p><u>(ア) 保全対象における放射線量が上昇しないか定性的に予測する手法</u></p> <p><u>(イ) 環境保全措置を見込まない場合と環境保全措置を講じた場合を比較する手法</u></p> <p><u>(ウ) 類似事例又は既存知見に基づく推定</u></p>	

改正後	改正前
<p><u>ウ 予測条件</u></p> <p><u>(ア) 事業特性に係る条件</u>  <u>土地改変計画、工事計画、埋立計画等</u></p> <p><u>(イ) 地域特性に係る条件</u></p> <p><u>a 放射性物質の拡散に影響を及ぼす気象の状況</u>  <u>風向・風速、大気安定度（日射量、雲量又は放射  収支量）、気温等</u></p> <p><u>b 大気の流れ、拡散等に影響を及ぼす地形・地物の  状況</u></p> <p><u>c 水象、水質その他の水に係る環境の状況</u></p> <p><u>(ウ) その他の予測・評価に必要な条件</u></p> <p><u>a 水域利用の状況</u></p> <p><u>b 学校、病院その他の環境の保全についての配慮が  特に必要な施設及び住宅の分布状況</u></p> <p><u>c 将来の放射線の量の状況（対象事業等以外の要因  による変化）</u></p> <p><u>エ 予測地域・地点</u></p> <p><u>(ア) 予測地域</u>  <u>放射線による影響が及ぶおそれがあると認められる  地域</u></p> <p><u>(イ) 予測地点</u>  <u>放射線による影響を的確に把握することができる地  点</u></p> <p><u>オ 予測対象時期等</u></p> <p><u>(ア) 工事</u>  <u>放射線による影響が最大となる時期</u></p> <p><u>(イ) 存在・供用</u>  <u>事業活動等が定常状態となる時期</u></p>	

改正後	改正前
<p>(4) 評価</p> <p>次に示す観点から評価する方法</p> <p><u>ア 放射線量の上昇が、事業者等により実行可能な範囲内で回避され、又は低減されているかどうかを明らかにする。</u></p>	